

子どもたち

あいどる

二四号

発行 社会福祉法人 路交館広報部
発行責任者 枝本 信一郎
編集 あいどる編集委員会(津崎・西野・原田)
〒533-0023 大阪市東淀川区東淡路2-7-5
TEL06-6321-3955 FAX06-6325-6320
ホームページアドレス <http://www.rokoukan.or.jp>
掲載の写真はアンケートに基づき掲載しています。



あけましておめでとうございます



新年明けましておめでとうございます

路交館理事長 枝本 信一郎

旧年の6月、NHKのプロフェッショナル「仕事の流儀」で、野島千恵子聖愛園前園長が取り上げられ、野島前園長(現教育保育担当参事)自身もそうですが、聖愛園も一躍全国規模で著名になりました。

このことそのものはうれしい話ですが、聖愛園の保育が「インクルーシブ保育」として紹介され、聖愛園がインクルーシブ保育に取り組む幼保連携型認定こども園として、人々に認識されたことは、ちょっと慌てさせられる出来事でした。といっても、聖愛園の教育・保育がインクルーシブ教育・保育であることを否定するつもりはありません。インクルーシブ教育・保育そのもののどとの自負さえ持っていました。しかし、これまで路交館では、自分たちの教育・保育を、この40年余、一貫して「障がい」児共同保育と言ってきました。それが、一夜にしてインクルーシブ保育に変わってしまい、慌てることになったのです。

聖愛園では、40年前、正確に言うと1976年秋に、大阪市の障がい児保育行政に抗議する運動に取り組みました。というのも、それまでは聖愛園でも重い障がいを持つ子どもも普通に受け入れてきていたのに、障がいの重い子は通園施設へ、軽い子は保育所へと振り分ける施策が行われようとしたため、これに園を挙げて抗議を行ったのです。この運動の盛り上がりの中で作られたのが「障がい」児共同保育こそ保育であるとのスローガンでした。障がい児と共に…」を目指す保育こそが本物の保育であり、障がい児を排除したうえで成り立つ保育は偽物の保育でしかない、と提起したのです。

この運動が一段落し、運動的な熱気が覚めてきた翌年の年明けの頃(ちょうど40年前の今頃ということになります)から、<「障がい」児共同保育こそ保育である>とは言ってみたものの、本当に聖愛園の保育はその言葉にふさわしいものになっているのだろうか?との問いなおしが徐々に始まっていくことになりました。単に一つのクラスの中で障がい児のための保育とその他の健常児のための保育を並行してやっているだけではないのか?本当に障がい児がいることが当たり前と言える普通の保育を行っているのだろうか?保育者(おとな)の影響力だけで健常児を障がい児にやさしくさせているだけではないのか?等々の問い直しがされるようになったのです。

このようにして、障がい児がいることが当たり前と言える普通の保育とはどのようなものかを模索し始めたのですが、今にして思うとこのことそのものがインクルーシブ保育の模索と言っても良いと思います。しかし、この当時はインクルーシブという言葉も知らないまま、あくまでも「障がい」児共同保育の内実を求める取組として意識され、その後もずっとその意識でいたのです。

ともかく上記の「障がい」児共同保育の問い直しの一環として、聖愛園を子どもたちにとっての「原っぱ」にしようと、1980年の試行を経て

1981年に全面たてわり保育に移行し、障がい児が当たり前と一緒にいることができる子どもたちの世界を聖愛園の中に作り出そうと試行錯誤を重ねていきました。そのような中、1989年11月に国連で採択されたこどもの権利条約(日本の批准は1994年)を学ぶことで、子どもの教育の参加権などことも主体の考え方を学ぶ中で、「障がい」児共同保育における「共同」について、それまでは保育者と保護者、地域住民等の共同を考えていたのを、子どもと保育者との共同をも考えるようになり、さらには、子どもたちによる、子どもたちのための、子どもたちの保育を聖愛園の中で実現しようと考えようになりました。この頃、今日に連なる聖愛園の「保育」の形がほぼ出来上がったと言っても過言でないように思います。

さて、インクルーシブ保育について、この言葉を最初に聖愛園に紹介したのは当時大阪市大教授だった堀智晴先生だったと思いますが、正直のところが「また新しい言葉が出てきたな」程度の印象で、ほぼ聞き流してしまいました。さらに、1994年のサラマンカ宣言で、インクルーシブ教育が基本的な教育のあり方とされていることも知っていましたが、これもちゃんと勉強しないまま、流れてきてしまったように思います。

このような中で、先に述べたように突然聖愛園の保育はインクルーシブ保育ということにされてしまったところで、改めてサラマンカ宣言を読んでもみると、「このインクルーシブ志向をもつ通常の学校こそ、差別的態度と戦い、すべての人を喜んで受け入れる地域社会をつくり上げ、インクルーシブ社会を築き上げ、万人のための教育を達成する最も効果的な手段であり、さらにそれらは、大多数の子どもたちに効果的な教育を提供し、全教育システムの効率を高め、ついには費用対効果の高いものとする」という言葉がありました。

実は、先に「聖愛園の保育の形がほぼ出来上がった」とした1990年代以降、それこそ野島前園長が折に触れて提起してきたことが、クラスの子どもの一人一人が本当にキラキラ輝いているのか?特に障がい児とは言えないけどさまざまなしんどさを抱えている子が輝いているのか?という問いでした。これは、「障がい」児共同保育における障がい児に過剰にこだわることで、他の子を置き忘れてきているのではないのか?との問いであり、先に引用したサラマンカ宣言の内容とが本当に実現できているのかを問うているという意味で、これと軌を一にする問いであったように思います。

「障がい」児共同保育の考え方を大切にしながらも、そろそろこの言葉を卒業するべき時が来ていたのかもしれない。

聖愛園は、というか路交館は、新しい年が始まるに際し、自分らの教育・保育や支援について、インクルーシブ教育の名の下に、新たな模索を始めたと思っています。

新しい年がみなさまにとって良い年となりますよう祈ります。

桜の園 パン工房 野望はふくらむばかりっ！

いよいよ桜の園 “パン工房で焼いたパンを皆さんにてお届けしていきたい作戦” が始まりました。パン工房営業班の面々で、第1歩として同じ路交館の障がい者系の事業所さんを周り、パンの売り込みをじわじわと始めています。『桜の園の焼き立てパンを昼食にいかがですか?!』と営業服に身を包んで売り込んでいます。手応えがあったりなかったり厳しかったりな日々ですが、汗あり涙ありで1歩ずつ前進しています。



そんな中、11月3日に行われた“路交館フェスタ”にて、パン工房初出店・初販売をさせていただきました！うきうき・どきどき・わくわくに胸をふくらましながら当日を迎えました。朝から桜の園で焼いたパンを車に積んでいざ淡路に出発！『いらっしやいませ～！焼き立てのパンです！2個100円で～す、ってください！』の声とともに販売開始です。出足は…『ちょっと不安が…』よぎりそうな立ち上がりでしたが時間とともに、『パンはここで売ってるの～』なんて言っていたりしながら、たくさんの人たちに足を運んでいただいて、おかげさまで用意したパン約300個完売!!! 本当にありがとうございました！

まだまだ、焼けるパンの種類は多くはないのですが、1歩1歩進みながら、各事業所さんや保育園さんなどなどに販売・営業に行かせていただき、桜の園パン工房のパンを皆さんに食べていただきたいと、日々メンバーさんとあれやこれやと企てております。今後ともよろしく願いいたします。

文責 森田 武司



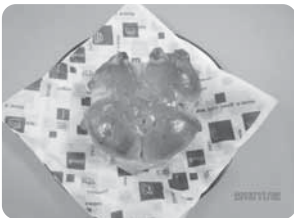
ハイジの白パン



テーブルロール



米粉(こめこ)パン



くるみパン



チョコパン



ノート&手帳販売！

お問い合わせ
TEL06-6379-1059
FAX06-6321-3481

みなさま、あけましておめでとうございます！
いつもお世話になっております。ウィリッシュです！
今年もやってきましたノート&手帳販売！！
カバーデザインは今回も絵画教室へ通うメンバーさんたちが手掛けています！
新しいカバーデザインを取り入れつつ、今までの物も販売させていただきます。

ラインナップはこちら⇒

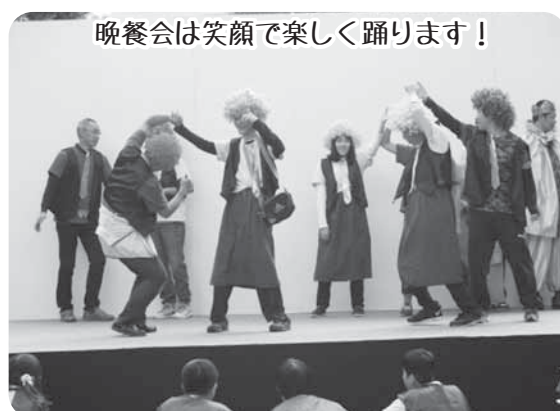
- 今年は「酉年」！ニワトリのデザインはポップでキュート♡
- パンダやカバのデザインはまるでサファリパーク訪れたかのよう！
- 大きな採れたてトマト！野菜好きにはたまらな～い！！
- てるてる坊主は心とむデザインとなっております！のほほ～ん…♡



ういず守口・滝井 路交館フェスタ!! ミュージカル披露!!

今年も路交館フェスタにメンバー・職員、合わせて約80名。舞台では講師の先生2名に構成・指導をお願いしミュージカルを披露させて貰うようになり7回目!今回はミュージカルが始まる前にオープニングアクトとし、選抜されたメンバーでファッションショーに初めて挑戦しました。自分たちで考えたり、こちらが提示したものから『なりたいもの、着てみたい衣装』を選び、ポーズも自分たちで工夫しました。練習では恥ずかしく下を向きながらウォーキング&ポーズでしたが当日は堂々とキャラになりきっていました。ミュージカルの練習は講師指導の月1回と自主練習を月に1回。オープニングアクトをしている間、ミュージカルに出るメンバーは舞台裏で待機していたのですが、今までならウロウロ、ソワソワ落ち着かず大声を出したり、どこかへ行ってしまうメンバーもいたのですが、今回は緊張感を持ちつつ落ち着き自分の出番を待っておられました。練習期間は練習が始まってからも落ち着かず、その場から離れたたり、その場に居ても座って観ているだけだったり、ドキドキしている気持ちを伝えられずモノに当たってしまったり、全く練習に参加できないメンバーもおられましたが、みんなで何回も練習を重ねての発表の場へ。そんなメンバーも本番は、さも練習から参加していましたよ～と言わん張りに、しっかりと衣装を着、本番に参加されていました。来年、2月11日には門真市のルミエールホールで行われる『春をよぶ、みんなのコンサート』にも参加します。お時間、興味のある方は是非、お越しください!

文責 津崎 朋子



▽ノートの中も、とてもステキ!▽



お値段は以前と変わらずノート（日付なし）350円、手帳（日付あり）650円となっております。ぜひお買い求めください!

幼保連携型認定こども園 北丘聖愛園 延長保育～夕軽食の様子～

北丘聖愛園は豊中市で唯一20時まで保育を行っています。

保護者の勤務時間が長かったり、勤務先が遠かったりしても時間を気にせず安心してお迎えに来られるよう、19時を超える子ども達は夕軽食を食べながらお迎えを待ちます。

20時まで保育を行う事で、急な残業や兄弟の受診など突然の事にも保護者の方が時間を気にしないですみ、遅くまで働かなくてはならない家庭も安心してお仕事出来るようにという思いで私たちは延長時間の保育を行っています。

また、お迎えに来た保護者から「自分のほっとする時間もつくれました」という声も聞かれ、忙しい仕事と子育ての中でリフレッシュの機会としても利用される事もあります。



夕軽食を過ごす子どもたちは、こじんまりした雰囲気の日もあれば大家族のように賑やかな日もある中で、日中のクラスの様子やお家での出来事をみんなでお喋りしたり、絵本を読んだり、お気に入りのオモチャで遊んだりしながらゆっくり過ごしています。

0歳児から5歳児までが一緒に過ごす為、大きい子が小さい子に絵本を読んであげたり、小さい子が大きい子の遊びを真似してみたり、ゆったりとした雰囲気の中で日中のクラスとは違う友達関係が出来ており、そんな大きな異年齢の関係も大切にしながら日々を過ごしています。

文責：渡 健友

幼保連携型認定こども園おうち保育 小学生のクッキング(食育活動)

この日は小学生のお楽しみとして自分たちで「夕食をつくろう!」ということになりました。

もちろん事前にメニューや役割を話し合っていて決めています。学校から終わるとまずは近所のスーパーに買い物に行きました。

買い物をして、学童保育で活動（この日は学童のうんどう会の練習をしていました）をした後、おうち保育に帰ってきた子どもたちは早速夕食づくりに取り掛かります。



まずは、ハンバーグの下準備。
玉ねぎのみじん切りは「ウー目が痛い」と言いながら、
休憩しながらとても上手に切っていました。
（これが一番大変だったかも）



ミンチに材料を加えて、こねます。
「ちょっと気持ち悪いかも」とはじめは言っていたが、
材料が混ざってくると面白くなっていつまでもこねていました。
形を作るのは「楽しい」とみんな話していました。



ホットプレートでハンバーグを焼くと「めっちゃいいにおいや」と
おいしいそうな香りが部屋に広がります。いい具合に焼けてきました。



スープも子どもたちで考えて、トマトスープを作りました。
夕食が完成！ハンバーグもトマトスープもおいしそうです。
（ごはんも炊きました）



おいしい！大満足。思わずにんまり。

食事をつくる大変さや楽しさを感じて、いつも夕食をつくってくれる人にありがとう。

小学校高学年になると、色々な事が出来るようになってきて子どもの成長を感じます。

文責：おうち保育担当 河野裕樹

保育所豊新聖愛園 ♪うんどうかいやったぞパーティー カレー大作戦♪

10月に行ったうんどうかい！みんなで頑張ったので、豊新聖愛園の友だちみんなで“コロッケカレー”を作って楽しみました。0歳児は野菜に触れ、1、2歳児は野菜をゴシゴシ洗ったり、しめじをちぎって上手にできました。



3歳児はお米を洗いと野菜の型抜きをして、4歳児は野菜の皮むきと型抜き、5歳児は野菜を切ってくれました。

そして、豊新つくしクラブ(学童)さんも、みんなのためにコロッケ作りに挑戦してくれましたよ!!

最後はみんなで、気持ちをいっぱい込めて「おいしくなあれ愛情ビーム!!!」

0歳児さんから学童さんまでが役割をもって、1つの心のこもったカレーを完成させました。



♪ハッピーハロウィン♪

「トリック・オア・アトリートおかしをくれなきゃイタズラしちゃうぞ～」

豊新聖愛園では、“はらっぱ活動”という活動があり、毎週木曜日に1歳児～5歳児が4グループにわかれて夕食を食べています。ハロウィンはそのはらっぱ活動の4グループと0歳児さんグループ・学童さんで楽しみました。

豊新聖愛園の子どもたちは、かぼちゃおばけになっておどかしに出かけます。

しかし、行った先にも学童さんと大人のおばけが出現…

さぁ！勇気を出して「トリック・オア・アトリート…」

無事おかしをもらっていっぱい食べましたよ。

夕食もはらっぱ活動でハロウィンメニュー☆



毎年うんどうかいやったぞパーティー(カレー大作戦)、子どもフェスタ(ハロウィン)も、豊新聖愛園の恒例行事になってきました。

豊新聖愛園の0歳児～学童

までが関わり合って、一緒にできて楽しい！お世話したり、してもらって嬉しいという経験を通して、これからもたくさん刺激を受け合いながら大きく成長してほしいと思います。

文責：保育所豊新聖愛園 稲 久江



児童発達支援センター わかくさ ポプラ

ポプラでは、毎年地域の摂津淀川マラソンに参加しています。今年も11月20日(日)の大会5kmの部に出場しました。当日までに、地域の公園で15分間走をしてみんなで走り込みをしました。メンバーさんからは、「去年は40分ちょっとでゴールしたから、今年は40分切る!」「今年で最後のマラソンになるから、1位目指す!」等の目標が挙がっていました!

大会当日。先頭メンバーさんの所や、コースの色々な位置で職員も伴走しています。今年は、走ってくるメンバーさんに…、『あれっ!? 伴走の大人がいない!』しばらくすると、「付いていけないですよ～」と伴走の大人が後から追いかけてくる…という場面がありました(笑)



スタートからゴールまで、1時間半の時間をとっていたのですが、今年は1時間を切るタイムで全員が完走することができました!

今年はこれまのマラソン大会に比べ気温も高く、走り終わった後は汗だくになりました。ボランティアさんも5名参加してくださり、みんなで気持ちの良い汗を流すことができました!

文責：北野



路交館 これからの予定

聖 愛 園

1月6日(金) もちつき
1月11日(木) ゆりクラブ発足
1月20日(金) おうちワクワクディ(あすなろ)
1月28日(土) 5歳児ゆめいっぱいふれあいコンサート

2月3日(金) 節分集会
2月3日(金) おうち節分集会(あすなろ)
2月9日(木) すずらんお茶会
2月11日(土)～12日(日) 夜間保育経験交流会(福岡)
2月24日(金) ゆりさんありがとう会&懇親会(あすなろ)

3月11日(土) 卒園式
3月13日(月)～18日(土) 春休み(1号認定)
3月14日(火) おうちくじらパーティー(あすなろ)
3月15日(水) すずらん卒室会

東淡路子ども館

1月28日(土)～29日(日) つくし思い出旅行

2月11日(土)～12日(日) 杉の子スキー旅行

3月4日(土) つくし卒室式
3月18日(土) 杉の子卒室式

北 丘 聖 愛 園

1月28日(土) 5歳児ゆめいっぱいコンサート
1月30日(月) 作品展

2月3日(金) 節分豆まき
2月7日(火) マラソン大会

3月9日(木) きりん(5歳児)お別れ会
3月11日(土) 卒園式
3月13日(月)～3月18日(土) 春休み(1号認定)
3月24日(金) 修了式
3月27日(月) クラス移動

豊新聖愛園

1月1日(日)～4日(水) 冬期休園日
1月6日(金) もちつき
1月10日(火)～14日(土) 作品展
1月17日(火) 震災集会
1月28日(土) 5歳児ゆめいっぱいふれあいコンサート
1月30日(月) ゆりクラブ発足

2月2日(木) 節分集会
2月11日(土)～12日(日) 夜間保育経験交流会(福岡)

3月9日(木) ゆり(5歳児)さんお別れ会
3月11日(土) 卒園式
3月28日(火) 進級式

桜 の 園

1月28日(土) 冬の地域交流

ポ プ ラ

1月4日まで、冬季休み
1月14日(土) ポプラ個展

2月18日(土) 調理活動

3月11日(土) 卒室式

さくらんぼルーム

1月4日まで、冬季休み
1月下旬 内科健診

2月25日(土) 親子参加行事“ふれあいあそび”

★後援会加入&寄附のお願い★

路交館後援会へ加入のお願いです。会費は一口 1,500 円からで、あいどるの郵送料などに使わせていただきます。後援会費は入金日より1年間有効です。ご協力のほどよろしくお願い致します。

また、当法人の保育・活動にご賛同・ご支援いただける法人・団体・個人の皆様からのご寄附の協力をお願いしています。お寄せいただいた寄附金は、利用者の皆様への更なるサービスの充実、各施設の施設・設備整備等に使わせていただきます。皆様からの暖かいご支援・ご援助を心からお願い申し上げます。

※どちらも同封の払込用紙を使っていただければ、手数料は当法人負担になります。

給食室おすすめレシピ

豆腐ドーナツ

材 料

豆腐…………… 180g(半丁)
薄力粉…………… 180g
ベーキングパウダー…………… 3g
砂糖…………… 40g
卵…………… 60g(大1コ)
粉砂糖……………少々
揚げ油……………適量



- ① 粉とベーキングパウダーを合わせてふるっておく。
- ② 豆腐は水切りしておく。
- ③ ボールに卵をわりほぐす。砂糖を入れて、しっかり溶かす。
- ④ ③に手でつぶした②の豆腐を入れて、混ぜる。
- ⑤ ④に①を入れて、サックリ混ぜる。
- ⑥ 手に粉をつけて、⑤を形よく成形し、180℃の油で、きつね色になるくらい揚げる。
- ⑦ お好みで粉砂糖をふって、出来上がり。

編集後記

新年明けましておめでとうございます。

今年は、酉年ということで皆さまが元気で羽ばたいて笑顔あふれる年になりますようお祈りいたします。

来年度も恒例行事の取り組みや事業紹介など、盛りだくさんの内容で記事を読まれた方々に喜んでいただけますよう、あいどる委員一同、心を込めて取り組んでいきますので2017年度もよろしくお願い致します。

編集担当 あいどる委員 津崎、西野、原田

幼保連携型認定こども園 聖愛園

勤労感謝の日！

日頃お世話になっている方々に「ありがとう」の気持ちを伝えました。



おいしい給食
いつもありがとう！



いつもお掃除や
お洗濯してくれて
ありがとう！

いつもお世話になっ
ているほっとさんや
給食室の先生に
プレゼントを届けま
した！



3.4.5歳児

くろだ歯科の先生とたはら眼科の先生に
ありがとうの気持ちを込めてプレゼント
を届けに行きましたよ！！



1.2歳児

いつも口の中をケガした時や、
目が痛い時に治してくれて
ありがとう♪



0歳児

いつもお世話になっ
ている浜川医院の先
生とウイリッシュさ
んにプレゼントを届
けましたよ♪



いつも、おむつ
をたたんで届けて
くれてありが
とう！！

笑顔満開 路交館フェスタ

11月3日（木・祝）に恒例となってきました「路交館フェスタ」を行いました。

舞台での各園の園児たちによる歌や太鼓や踊りでスタートしたフェスタ☆その他には、ミュージカルや手話でも大盛り上がりでした♪

模擬店ではたくさんの方々が来てくださり、大盛況でした。各園、各施設のご家族の方々ははじめ、地域の方々、懐か



しい顔もたくさん来てくださり、笑顔
いっぱいの路交館フェスタとなりました。
たくさんのご来場本当にありが
とうございました☆

文責 路交館フェスタ委員会 小西